子規の音〜根岸に生きた10年〜

正岡子規は慶応3年に松山に生まれ、明治35年9月、下谷区根岸で亡くなった。
晩年を過ごした根岸はまだ、東京の北の丘、上野の向こうの小さな町。
そこに続く根岸地帯であり、その町には根岸、上野、田端、谷中などの地名を彷彿とさせるものがある。

明治30年代の根岸の地図を参考に、正岡子規の生きた時代。
明治30年代に建つ根岸の地名、その町には根岸、上野、田端、谷中などの地名を彷彿とさせるものがある。

東北の明治29年の震災と津波、研ぎ澄まされた五感などについて語る。

令和2年2月23日（日祝）14時～15時30分

松山市立子規記念博物館
4階講堂

参加費
無料（事前申し込みが必要）
定員400名
申込方法
①～③の内容を明記し、メール、FAX、お電話又はご来館にてお申し込みください。
（①氏名 ②電話番号 ③参加人数）

締切 令和2年2月16日（日）
宛先〒790-0857 松山市道後公園1-30
松山市立子規記念博物館「冬季子規塾」係
電話089-931-5566 FAX089-934-3416
メールsikihaku@lesp.co.jp

主催 松山市教育委員会
（運営：松山市立子規記念博物館 指定管理者 株式会社レスパスコーポレーション）

講師 森まゆみ
1954年東京都文京区待坂生まれ、東京女子大学文学部卒業。1979年同大学院大学院文学研究科(Filter)修了。1984年より地域誌「松山市編」を編集。2009年卒業後は「谷根千・記念館の蔵」を主宰。
著書として『北の坂』(新潮社)、『芸術選奨文部大臣新人賞』、『彭現隊遺聞』(集英社文庫)、『即興詩人のバリア』(筑摩書房)、『青葉の冒険』(平凡社・紫式部文学賞)などがある。

松山市立子規記念博物館
〒790-0857 松山市道後公園1-30
指定管理者 株式会社レスパスコーポレーション http://sikihaku.lesp.co.jp/